
23歳、フリーター。

ジョン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

23歳、フリーター。

【コード】

N8111P

【作者名】

ジョン

【あらすじ】

フリーターになってしまった主人公である俺が自分だけのものを見つけて話です。

序章

俺は、今どん底にいる

思い起こせば、俺という人物は主体性が全くない人物だった。これまでの人生において明確な意思をもって人生の選択をおこなってきたことがいくつあったであろう。一つもないのではないだろうか。人生の分岐点でもある進学においても周りに流され、皆と同じように勉強をし、進学をした。進学をした理由は、と聞かれれば皆がしていたからと答えよう。

そんな俺は、夢はなく、未来に何の希望も抱いてはいなかった。そのくせ自身に平凡な未来、周りの人々と同じような未来が訪れることを信じて疑わなかった。そんな自身に憤りを感じるでもなくただ日々を無感動に過ごしていた。

そして、人生最大の選択である就職活動をむかえる。時は氷河期と呼ばれるほどの就職難の時代であった。危機感を煽られ活動しだす学生たち、もちろんその中に俺もいた。そう、今まで的人生と同じように皆がしているからという理由で

当初の俺はまだ自身の力量を把握しておらず、そのためか過大な自信を持っていた。その過大な自信のお蔭で内定は得られないもののいくつかの選考は突破していた。その状況に疑問はなく、内定を得るのも時間の問題である。そして、平凡な人生を歩んでいくのである。そう俺は考えていた。

しかし、現実とは違っていった。何十という会社の選考を受けては落ちる。その繰り返しを繰り返していくうちにかつてあった

過大な自信は委縮していきその形を潜めてしまった。

それからは様々な考えが浮かび上がるようになった。俺は本当にこの会社に入りたいのか、本当にこの仕事がしたいのか、いくつもの考えが浮かび心に溜まっていく。まるで汚泥のようにべたべたと纏わりつき離れなくなる。

心が重い

すると、次第に面接上での偽りの自分に耐えられなくなってしまった。本当の自分と造られた自分、その差はほんの少しなのかもしれない、しかし、それは自分ではない。

それに気づいてしまった、そう考えてしまった。面接がどうしようもなく怖いものへと変貌した。

それからの就職活動は覚えていない、続けてはいたが覚えていないのだ。

そして、俺はフリーターになった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8111p/>

23歳、フリーター。

2011年1月3日22時18分発行